

学校の沿革

平成28年	<p>笛川小学校が開校 校歌披露式実施</p> <p>文部科学省「少子化・人口減少に対応した活力ある学校教育推進事業」指定校舎改修工事（6月～8月）</p> <p>スクールバス庫竣工</p>
平成29年	<p>文部科学省「教育課程特例校」（小学校英語科）市全学校</p> <p>文部科学省「少子化・人口減少に対応した活力ある学校教育推進事業」指定山梨県教育委員会「小中連携研究推進校」指定</p> <p>山梨市教育委員会「山梨市ICT教育推進指定校」指定</p> <p>校務支援ソフトの導入、体育館トイレ改修工事</p>
平成30年	<p>環境大臣表彰受賞「地域環境保全功労者表彰」</p> <p>五十五インチ大型液晶モニター・スタンド（4台）</p> <p>プロジェクター・専用台・スクリーン（各1台）設置</p> <p>市給食センター稼働に伴う給食配膳室改修・プラットホーム設置</p>
平成31年 (令和元年)	<p>山梨県教育委員会「小中連携研究推進校」指定笛川小・中拡大校内研究会実施</p> <p>校舎南側転落防止ネットフェンス修理</p> <p>校庭遊具（太鼓橋）移設</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休業</p>
令和2年度	<p>文部科学省「教育課程特例校」（小学校英語科）市全学校</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策に伴う臨時休業（4月9日～5月1日）</p> <p>青少年赤十字加盟</p> <p>文化庁文化芸術による子供育成総合事業 巡回公演鑑賞（11月）</p> <p>文部科学省 GIGA スクール構想一人一台端末導入（3月）</p>
令和3年度	<p>オリンピックパラリンピック教育推進事業（5月）</p> <p>文化芸術劇場 太鼓コンサート実施（6月）</p> <p>笛川小・中学校運営協議会設置及び運営</p> <p>校庭外トイレリフォーム工事（1月～2月）</p>
令和4年度	<p>乙女高原学習会（9月）</p> <p>学校ブドウ園収穫体験（9月）</p> <p>令和吉祥太鼓発表（10月）</p> <p>緑の活動発表会 地区代表 優秀賞（11月）</p>

学校経営の概要

- 校訓「自主自立」
- 学校教育目標

地域に誇りをもち、豊かに自立する子どもの育成

みんなの合い言葉「笛川の子、かしこく なかよく たくましく」
- 教育方針
 - 地域とともに子どもを育てる教育（コミュニティ・スクール）
 - ほめて育てる教育（自己肯定感の育成）
 - 「わかる・できる」授業をめざす教育（確かな学力）
- めざす子どもの姿
 - 自ら考え表現し、学び合う子ども 〈かしこく〉〈知〉
 - 自他の良さを認め、友達を思いやる子ども 〈なかよく〉〈徳〉
 - 命を大切にし、進んで体を鍛える子ども 〈たくましく〉〈体〉
- めざす学校の姿
 - 日本一の学校 「あいさつ日本一」「なかよし日本一」
 - 学校に誇りを持ち、地域とつながり合う学校
 - 磨き合う教師集団による教育力のある学校
 - 子どもに寄り添い、一人ひとりが大切にされる学校
- めざす職員の姿
 - 子どもに寄り添い、子どもを大切にできる職員
 - 研究・研修に励み、磨き合う職員
 - 同僚を大切にし、協働して組織対応できる職員
- 学校経営方針
 - （1）学校教育指導重点の趣旨を踏まえ、職員共通理解の中で教育目標を具現化する。
 - （2）児童の実態や地域に根ざした特色ある教育課程の編成について創意工夫する。
 - （3）小中連携強化に積極的に取り組み、指導内容や指導方法について共通理解を深める。
 - （4）基礎的・基本的内容の確実な定着のため、個に応じたきめ細かな指導を行う。
 - （5）地域とともにあるコミュニティ・スクールとして、家庭、地域と連携し開かれた学校を築く。
 - （6）信頼し合い、磨き合い、協力し合う、明るく活気ある職場をつくる。
 - （7）笛川小学校としての新しい校風づくりを着実に進める。
 - （8）適切な児童理解や一人ひとりの居場所づくりを進め、望ましい集団づくりを進める。
- 学校経営の努力点
 - （1）生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、確かな学力を育む指導と評価を行う。
 - ①基礎基本の確実な習得・定着に努め、基礎的・基本的な知識・技能を活用した学習活動を展開する。
 - ②「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざした授業づくりを進める。
 - ③山梨市の方針に則って英語科教育を充実させる。
 - ④さわやかタイムを有効活用する。
 - ⑤学習規律を徹底し、児童の実態に即して家庭学習と授業を有機的に結びつける。

- ⑥授業のめあての提示の仕方を工夫し、「やまなしスタンダード」の確実な実施を図る。
- （2）豊かな心を育成する指導を進める。
 - ①いじめの早期発見・迅速対応に心がけ、適切な児童理解に基づく相談体制を充実させる。
 - ②道徳の授業を中心に、全教育活動の機会を捉えて道徳的実践力を養い、命を大切にすることを育成する。
 - ③あいさつ運動や花いっぱい運動、清掃・美化活動を充実させる。
 - ④読書活動や歌声活動を通して、豊かな感性を養う。
 - ⑤異年齢縦割集団活動を活性化させる。
 - ⑥学社連携を深め、しなやかな心の育成に向けて、お互いのよさを認め合う活動を進める。
- （3）基本的な生活態度の育成と健康安全や体力の向上をめざした取り組みを充実させる。
 - ①保護者と連携しながら基本的な生活習慣を定着させる。
 - ②体力づくり一校一実践計画の実施等、日常的な運動習慣を定着させる。
 - ③健康安全計画に基づいた安全指導を着実に行う。
 - ④食に関する指導計画に基づいて、食育を充実させる。
 - ⑤創意ある、工夫された体育的行事を実施する。
- （4）情報教育、ICTの活用、特別支援教育を充実させる。
 - ①授業において、ICT機器を積極的に活用し、情報活用能力や情報機器活用能力と情報モラルを育成する。
 - ②「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」を作成し、特別な支援や配慮が必要な児童の実態を把握しながら、個の特性に配慮した指導を行う。
- （5）安全・安心を基盤とし、家庭や地域に開かれた信頼される学校づくりを進める。
 - ①コミュニティ・スクール（学校運営協議会）制度を活用し、学校の課題解決に向けた熟議・協働を進める。
 - ②地域で学ぶ、地域を学ぶ、地域の人々から学ぶ、学習活動を展開する。
 - ③目標、実行、評価、改善のPDCAサイクルに基づき、適切な評価を確実に行う。
 - ④家庭・地域と連携し、保護者・地域の人々が参加する教育活動を工夫する。
 - ⑤地域の保育園・中学校との交流・連携を積極的に推進する。
 - ⑥実践的な訓練を実施することにより、防災・防犯の意識や能力を高める。
 - ⑦積極的に学校の様子を知らせ、家庭・地域の声を聞く場を設ける。
- （6）小中連携を推進し、9年間を見通した教育活動を展開する。
 - ①教職員間の連携
 - ・小中連絡会議・小中ブロック交流会等を通して相互理解を深める。
 - ②学びづくり
 - ・合同授業研究会等を通して、授業力向上に向けた取組を進める。
 - ・学び方指導の研究を推進する。
 - ・授業交流を積極的に実施する。
 - ③心づくり
 - ・児童会・生徒会の交流を充実させる。
 - ・中学校での体験活動を通し、中学校の活動への流れを円滑にする。

児童数・家庭数（令和5年5月1日現在）

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
男子	9 (1)	19 (3)	9 (1)	19 (2)	10 (2)	15 (1)	81 (10)
女子	16 (1)	2	10 (1)	15 (2)	10 (1)	12	65 (5)
合計	25	21	19	34	20	27	146
家庭数	7	13	13	25	20	27	105

（ ）は特別支援学級児童数（内数）

年間の主な行事

4月	<p>新任教 始業式 入学式 健康診断</p> <p>家庭訪問 1年生を迎える会</p> <p>授業参観・PTA総会・学年部会</p>	10月	<p>東山梨音楽発表会(4年生)</p> <p>秋の校外学習(1・2年生)</p> <p>県外学習(5年生)</p>
5月	<p>避難訓練 児童会総会 東山陸上記録会</p> <p>新体力テスト</p>	11月	<p>校内マラソン大会</p> <p>PTA文化部主催行事 こどもまつり</p> <p>避難訓練 芸術鑑賞教室</p>
6月	<p>修学旅行(6年生) プール開き</p> <p>学校創立記念日(3日)</p> <p>土曜参観・親子クリーンアクション</p>	12月	<p>個別懇談 スケート教室(3・4年生)</p> <p>2学期終業式 冬季休業</p>
7月	<p>1学期終業式 夏季休業</p> <p>校内水泳記録会 市水泳記録会</p>	1月	<p>3学期始業式 校内書き初め大会</p> <p>児童会役員選挙 新入生保護者説明会</p>
8月	<p>2学期始業式 夏休み作品展</p>	2月	<p>児童会総会 授業参観 学年部会</p> <p>スキー教室(5・6年生)</p>
9月	<p>避難訓練 運動会練習特別日課</p> <p>秋季大運動会</p>	3月	<p>6年生を送る会</p> <p>卒業式 修了式 離任式</p>

※体力アップタイム（原則毎週金曜日：中休み） ※音楽集会（年間3回：中休み）

教職員一覧

職名	氏名	担任	校務分掌
校長	新海 直仁		学校経営
教頭	橋本 尚一		学校運営・児童支援・安全管理・学校運営 教議会・いきいき人材・環境整備
教諭	橋田 栄		教務・教育課程・SB交通安全・ICT教育 理科主任
教諭	鶴田 望	1年	給食主任・道徳主任・道徳教育推進教師・ 司書教諭
教諭	笠井 裕弥	2年	研究主任（研究指定担当）・生活科主任
教諭	相澤 拓実	3年	体育主任・環境教育
教諭	名取 夏海	4年	音楽主任・キャリア教育
教諭	古谷奈都美	5年	視聴覚主任・英語科主任・国際理解教育
教諭	川手 太郎	6年	児童会主任・緑の少年隊・金銭教育 家庭科主任
教諭	清水 正俊	こだま	特別支援教育コーディネーター 初任研指導・算数科主任
教諭	小林 宏美	つつみ	〃特別支援教育コーディネーター 福祉教育・社会科主任
教諭	土橋 洋子	ことのね 1	特別支援教育コーディネーター主任
教諭	清水 恵	ことのね 2	特別支援教育コーディネーター 国語科主任・図書館教育
教諭	遊免阿吏沙	かがやき	特別支援教育コーディネーター・生徒指導 主任・図工主任
教諭	岩崎 利香	専科	英語指導（水勤務、木午後勤務）兼務
非常勤講師	植原 恵子		初任研後補充 児童支援
養護教諭	丸山沙緒里		保健主事・衛生管理（研究指定担当）
事務職員	久保寺章夫		学校事務
司書	下重 真弓		司書（月、火、木、金） スクールサポートスタッフ（水）
用務員	雨宮 社		学校用務
支援員	田所すみ江		児童支援
支援員	小林美奈子		児童支援
ALT	アレックス・ガウチャー		英語指導（水、木勤務）笛川中本務
給食配膳補助員	高橋 清美		配膳補助
栄養士	岡部 晏菜		給食・食育(火勤務) 給食センター本務
スクールカウンセラー	戸村 有希		年間54時間（金勤務）17日
学習指導支援員	廣瀬 康子		学習指導支援

校内研究の概要

1 研究主題

「歯・口の健康づくりのために、主体的に考え、行動する児童の育成」
～プログラミング的思考の活用を通して～

2 主題設定の理由

昨年度まで研究を進め育成してきた「プログラミング的思考」は、様々な分野で活用することができる。

昨年度は、「プログラミング年間指導計画」を基本とし、各学年教科を中心とした学習の中で育成に努めてきた。児童も、順序立てて考えていくことで思考が整理され、理解力も高まった。

そこで、今年度は、研究指定を受けた「歯・口の健康づくり」について、昨年度までに育んできた「プログラミング的思考」を活用することで、主体的に考え行動する児童の育成につながり、効果的に筋道を立てて考え、より深い学びへと展開していけるのではないかと考え、主題と副題を設定した。

3 研究の具体的内容と方法

(1) 研究の内容

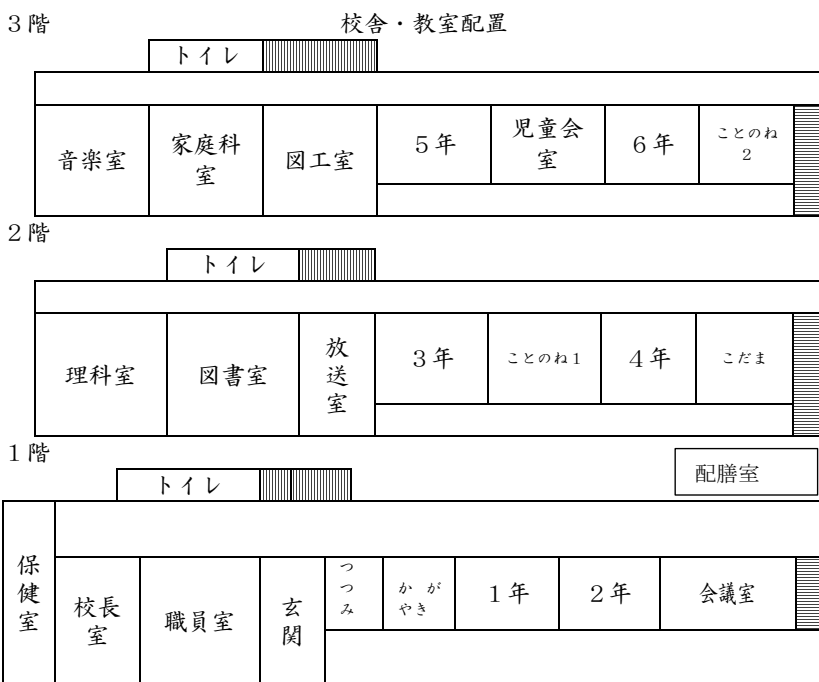
- ・健康な体（歯・口）についての学習会を開き、授業研究の推進を図る。
- ・プログラミング教育のねらいであるプログラミング的思考の育成とは、どのようなことかを更に理解を深める。
- ・自校の現状や課題を把握する。
- ・授業実践（学級活動、各教科、総合的な学習など）を行い、その結果を分析し、本研究の成果と課題を明らかにし、今後の指導に生かす。

(2) 研究の方法

- ・講師を招聘しての研修会（歯・口の健康づくり、プログラミング的思考）
- ・アンケートや検診結果を分析・集計
- ・研究授業（歯・口の健康づくりについて）
- ・一人一実践（プログラミング的思考）

日 課 表 (*ノーチャイム)

	月	火	水	木	金
児童登校	8:20				
さわやかタイム	読書	学習	学習	学習	読書
	8:25	～	8:40		
朝の会	8:40	～	8:50		
1校時	8:50	～	9:35		
2校時	9:40	～	10:25		
中休み	10:25	～	10:50		
3校時	10:50	～	11:35		
4校時	11:40	～	12:25		
給食/歯みがき	12:25	～	1:15		
昼休み	1:15	～	1:35		
そうじ	1:35	～	1:50		
5校時	1:55	～	2:40		
6校時	委:3:00～ 3:45 ク:3:00～ 4:00	3年～ 6年 2:45 ～ 3:30		4年～ 6年 2:45 ～ 3:30	2年～6年 2:45 ～ 3:30
学習スタンバイ		5校時 2:40 6校時 3:30	～	2:45 3:35	
帰りの会		5校時 2:45 6校時 3:35	～	3:00 3:50	
児童下校			4:00		



令和5年度 学校要覧



笛川小学校校歌

作詞・作曲 林久悦
林由恭

一 琴の音きこえる テンテケきこえる
やさしい音色 こぼれる笑顔
紫そよぐ丘の風
葡萄坂を駆け抜ける
ひとりひとりが 希望の一粒だ 笛川小学校

二 鼓がはずむ タン-ton はずむ
大地に響く ほくらの足音
大きな鶴が 飛ばたいて
教えてくれた 道を行こう
ひとりひとりが 勇気の一粒だ 笛川小学校

三 笛の音流れる ピーヒャラ流れる
溪声 交わる ふるさとのハーモニ
足並みそろえて 意気高く
富士を越えて こだまする
ひとりひとりが 輝く一粒だ 笛川小学校
みんな集まれば たわなに実る 一房だ
未来へ届け 笛川小学校

山梨市立笛川小学校

〒404-0013 山梨市牧丘町窪平 1200 (本校)
TEL 0553-35-2015
FAX 0553-35-3292
E-mail tekisen-e@es-jhs.kai.ed.jp

〒404-0001 山梨市牧丘町柳平 43 (分校-休校)